

# 試験報告書

依頼者 株式会社 エクセラ

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 抗カビ水性断熱塗料「アクション25」

表 題 かび抵抗性試験

2015 年(平成 27 年)09 月 29 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

## かび抵抗性試験

### 1 依頼者

株式会社 エクセラ

### 2 検 体

抗カビ水性断熱塗料「アクション25」

### 3 試験目的

検体のかび抵抗性を調べる。

### 4 試験概要

検体のかび抵抗性をJIS Z 2911 : 2010「かび抵抗性試験方法」塗料の試験を参考にして試験した。

なお、試験片の前処理(水浸漬及び乾燥)は行わなかった。

### 5 試験結果

結果を表-1(写真-1参照)に、結果の表示方法を表-2に示した。

表-1 試験結果

かび抵抗性
0

表-2 試験結果の表示方法

菌糸の発育	かび抵抗性
試験片の接種した部分に菌糸の発育が認められない。	0
試験片の接種した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は、全面積の1/3を超えない。	1
試験片の接種した部分に認められる菌糸の発育部分の面積は、全面積の1/3を超える。	2

## 6 試験方法

### 1) 試験菌

*Aspergillus brasiliensis* NBRC 105650

*Penicillium pinophilum* NBRC 6345

*Cladosporium cladosporioides* NBRC 6348

*Aureobasidium pullulans* NBRC 6353

*Trichoderma virens* NBRC 6355

### 2) 孢子懸濁液の調製

各試験菌をポテトデキストロース寒天培地[栄研化学株式会社]で26℃±1℃、10日間培養後、孢子をそれぞれ0.005%スルホコハク酸ジオクチルナトリウム溶液に浮遊させ、ガーゼを用いてろ過した後、1 mL当たりの孢子数が約 $10^6$ となるように調製し、単一孢子懸濁液とした。

各単一孢子懸濁液を等量ずつ混合し、混合孢子懸濁液とした。

### 3) 試験片の調製

検体(大きさ：約3 cm×3 cm)を試験片とし、前処理(水浸漬及び乾燥)は行わなかった。

### 4) 試験操作

平板培地\*の上に依頼者指定面を上にして試験片を置き、混合孢子懸濁液1 mLを培地表面及び試験片上に均等にまきかけ、ふたをして、温度26℃±1℃で1週間培養した。培養後、試験片表面に生じた菌糸の発育状態を肉眼で観察した。

#### \* 平板培地の組成

精製水	1000 mL
グルコース	40 g
ペプトン	10 g
寒天	20 g

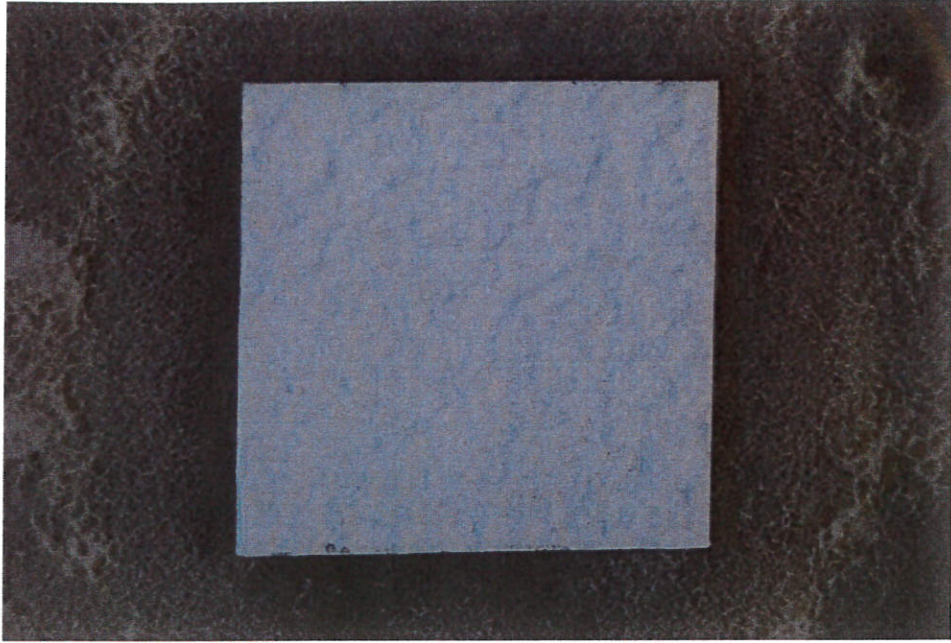


写真-1 検体，培養1週間後の試験片の一例

以 上